



ORACLE®

## 2008年5月期決算説明会

日本オラクル株式会社

2008年7月4日



ORACLE®

## 決算概要と業績予想

日本オラクル株式会社  
専務執行役員 最高財務責任者  
野坂 茂



# アジェンダ

- 2008年5月期 決算概要
- 2009年5月期 業績予想



# 2008年5月期 決算概要



# 2008年5月期の成果

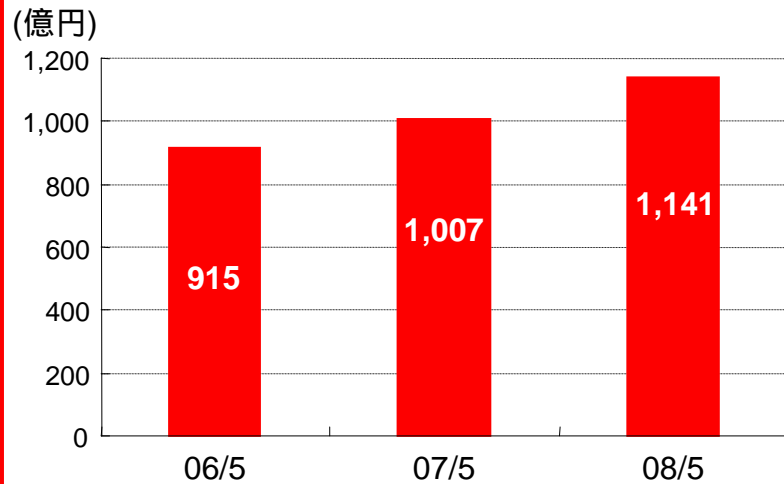
**1 売上高 4期連続増収を達成**

**2 営業利益 5期連続増益を達成**

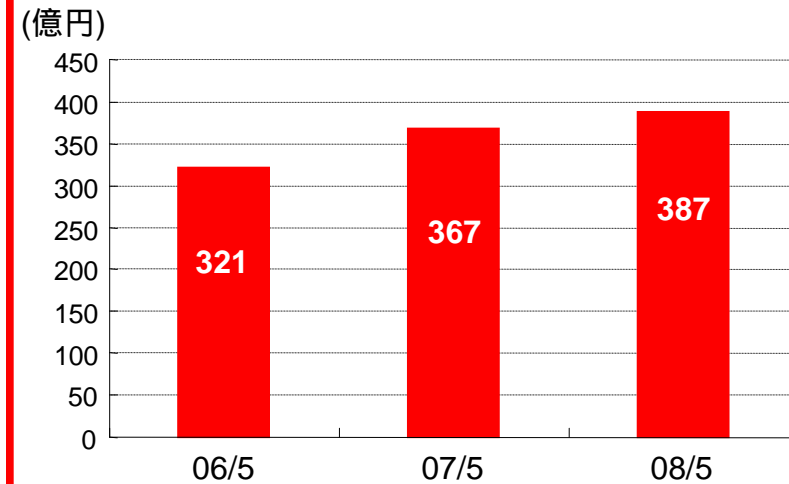
**3 新協業体制による相乗効果**

# 2008年5月期 ハイライト

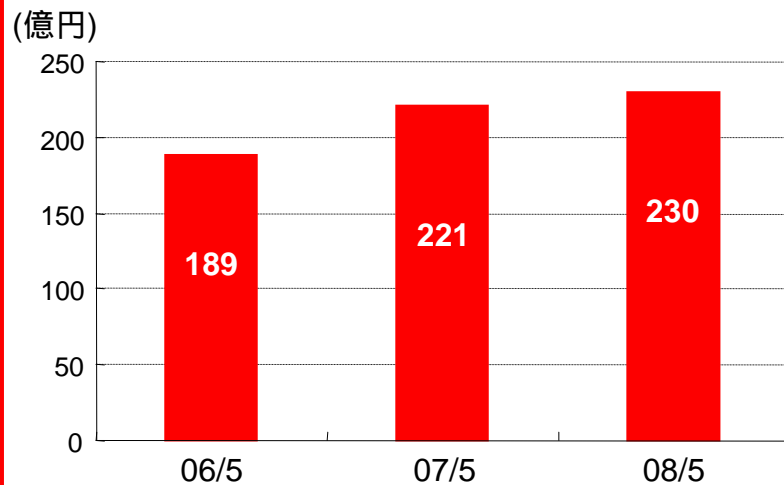
売上高 = > 過去最高 13.2%増



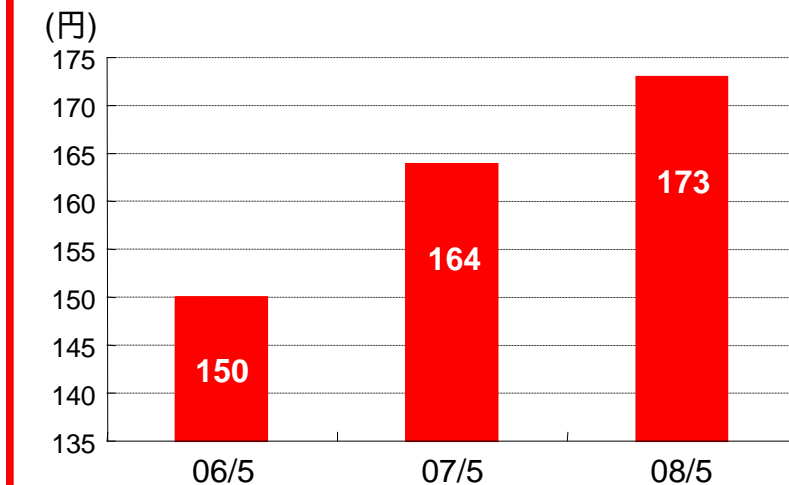
営業利益 = > 過去最高 5.3%増



当期純利益 = > 過去最高 4.2%増



年間配当額 = > 173円



ORACLE

# 2008年5月期 決算実績

(百万円)

過去最高の売上高・利益を達成

	07/5実績	08/5実績	前期比
売上高	100,767	114,112	13.2%
営業利益	36,781	38,731	5.3%
営業利益率	36.5%	33.9%	-2.6pts
経常利益	37,190	39,130	5.2%
経常利益率	36.9%	34.3%	-2.6pts
当期純利益	22,134	23,057	4.2%
当期利益率	22.0%	20.2%	-1.8pts
1株当たり純利益	174.24円	181.47円	+7.23円
1株当たり配当金	164.00円	173.00円	+9.00円

実績については表示単位未満を切捨て

ORACLE

# 売上高の経年推移

(億円)

1,200

1,000

800

600

400

200

0

06/5

07/5

08/5

915

1,007

1,141

+10.1%

+13.2%

- コンサルティングサービス
- エデュケーションサービス
- アドバンスド・サポート
- アップデート&プロダクト・サポート
- ビジネス・アプリケーション
- データベース・テクノロジー

ORACLE



# 2008年5月期 売上区分別売上構成

(百万円)

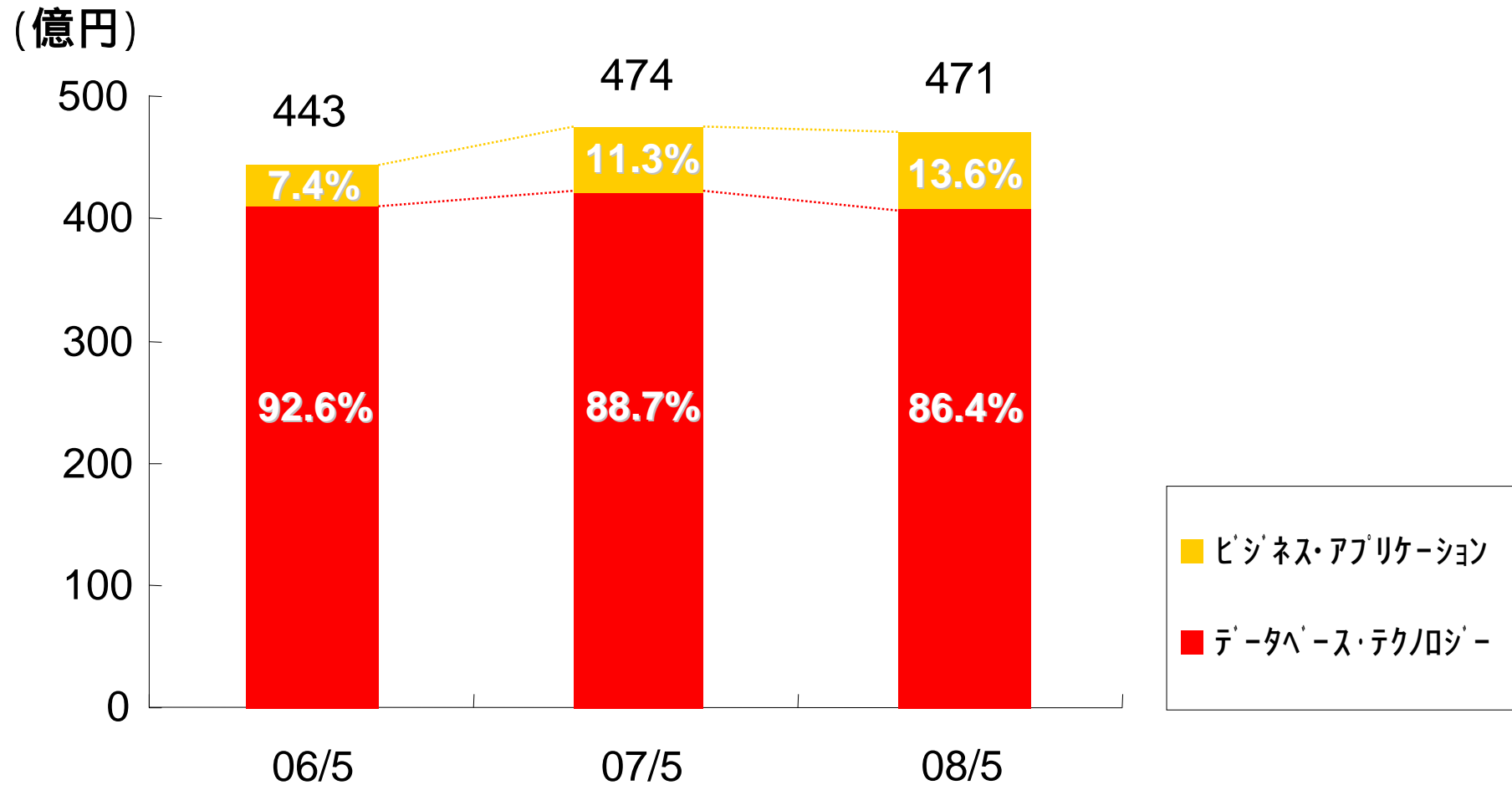
	08/5実績	前期比	07/5実績
データベース・テクノロジー	40,753	-3.2%	42,084
ビジネス・アプリケーション	6,421	19.6%	5,371
アップデート&プロダクト・サポート	50,263	18.2%	42,525
ソフトウェア関連小計	97,438	8.3%	89,981
アドバンスト・サポート	2,101	43.2%	1,467
エデュケーションサービス	2,551	20.7%	2,113
コンサルティングサービス	12,021	66.8%	7,205
サービス小計	16,674	54.6%	10,786
合計	114,112	13.2%	100,767

実績については表示単位未満を切捨て

ORACLE

# 新規ライセンス Portfolioの経年推移

ビジネス・アプリケーションの割合が拡大



ORACLE

# 2008年5月期 売上原価・販管費

(億円)

費目	08/5	07/5	増減	コメント
売上原価	491	402	+89	ソフトウェア関連売上の増加による コンサル人員増加による コンサル案件に係る業務委託費増
ロイヤリティ	352	317	+35	
人件費	89	53	+36	
業務委託費	30	17	+13	
賃借料	7	5	+2	
その他	12	9	+3	
販管費	261	237	+24	人員の増加による
人件費	142	125	+17	
業務委託費	34	31	+3	
広告宣伝費	20	18	+2	
賃借料*	22	19	+3	
その他	43	44	1	
従業員数(人)	2,135	1,712	+423	OISからの出向者を含む

ORACLE

\*賃借料の金額には、財務諸表上の業務委託費内に含まれる「出向者費用負担分に係る賃借料相当分」を組入れています  
Copyright© 2008, Oracle. All rights reserved.



# 2009年5月期 業績予想



# 2009年5月期 業績予想

(百万円)

	08/5		09/5	
	実績	前期比	予想	前期比
売上高	114,112	13.2%	130,000	13.9%
営業利益	38,731	5.3%	39,400	1.7%
営業利益率	33.9%	-2.7pts	30.3%	-3.6pts
経常利益	39,130	5.2%	39,400	0.7%
経常利益率	34.3%	-2.6pts	30.3%	-4.0pts
当期純利益	23,057	4.2%	23,100	0.2%
当期利益率	20.2%	-1.8pts	17.8%	-2.4pts
1株当たり純利益	181.47円	+7.23円	181.77円	+0.30円
1株当たり配当金	173.00円	+9.00円	173.00円	-円

実績については表示単位未満を切捨て

ORACLE

# 売上区分別売上構成予想

(百万円)

	08/5		09/5	
	実績	前期比	予想	前期比
データベース&ミドルウェア*	40,753	-3.2%	44,200	8.5%
ビジネス・アプリケーション	6,421	19.6%	8,000	24.6%
アップデート&プロダクト・サポート	50,263	18.2%	59,000	17.4%
ソフトウェア関連小計	97,438	8.3%	111,200	14.1%
アドバンスト・サポート	2,101	43.2%	3,050	45.2%
エデュケーションサービス	2,551	20.7%	2,750	7.8%
コンサルティングサービス	12,021	66.8%	13,000	8.1%
サービス小計	16,674	54.6%	18,800	12.8%
合計	114,112	13.2%	130,000	13.9%

実績については表示単位未満を切捨て

ORACLE

\*2009年5月期より表記方法の変更  
 データベース・テクノロジー データベース&ミドルウェア

# 2009年5月期 半期別予想

(百万円)

	09/5上期	前期比	09/5下期	前期比
売上高	60,200	10.7%	69,800	16.9%
営業利益	17,400	-1.1%	22,000	4.1%
経常利益	17,400	-2.6%	22,000	3.5%
当期純利益	10,200	-3.0%	12,900	2.8%
1株当たり配当金	70.00円	- 円	103.00円	- 円

ORACLE

# 2009年5月期 半期別部門別予想

(百万円)

	09/5上期	前期比	09/5下期	前期比
データベース&ミドルウェア	19,600	+2.4%	24,600	13.8%
ビジネス・アプリケーション	3,400	+22.7%	4,600	+26.0%
アップデート&プロダクト・サポート	28,700	+15.4%	30,300	+19.3%
ソフトウェア関連小計	51,700	+10.5%	59,500	+17.4%
アドバンスト・サポート	1,300	+42.1%	1,750	+47.6%
エデュケーションサービス	1,300	+4.9%	1,450	+10.6%
コンサルティングサービス	5,900	+8.1%	7,100	+8.1%
サービス小計	8,500	+11.7%	10,300	+13.6%
合計	60,200	+10.7%	69,800	+16.9%

ORACLE



# 本社ビル関連の財務上のインパクト 1/4

## オラクル青山センターの概要について

表参道方面から見た外観



### 基本仕様

- 地上24階建、ビル全体を専有
- 当社所有 9階～24階
- 賃借 3階～8階
- 延床面積約2.4万平米(内、賃借部分約6.6千平米)

### スケジュール

- 7月末竣工
- 8月1日所有権移転
- 8月から9月にかけて引越

### 投資額\*

- 総額 464億円

\*次ページ以降に、主な内訳と差異の説明

# 本社ビル関連の財務上のインパクト 2/4

## オラクル青山センターの投資額について

投資額 464億円

主な内訳



East



West

非償却資産

256億円

償却資産

198億円

一時費用

10億円

ORACLE

# 本社ビル関連の財務上のインパクト 3/4

## 2005年11月発表時からの差異について

29億円増加の  
差異要因

05年11月発表時から人員増加  
・3階 ~ 8階の6フロアを賃借へと変更

一時的費用を精査  
・引越し・原状回復費

## 2009年5月期の財務上の影響について

08/5 Facility 関連費用  
実績約39億円

約27億円の  
インパクト

09/5 Facility 関連費用  
見込み約66億円

減価償却

Utility関連

賃料(含共益費)

税金

減価償却

Utility関連

賃料(含共益費)

税金

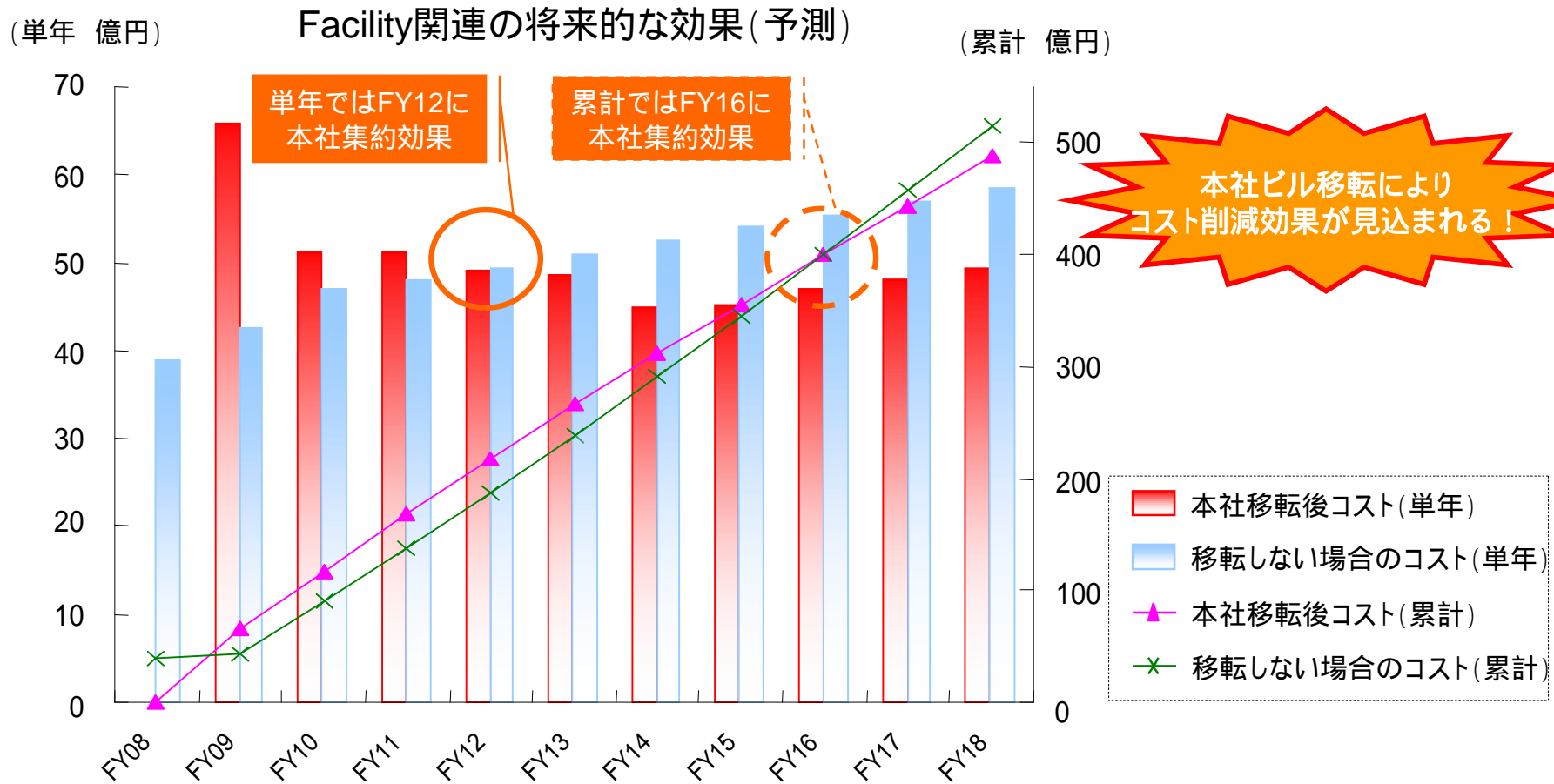
一時的費用  
(引越し等)

特別損失

ORACLE

# 本社ビル関連の財務上のインパクト 4/4

## 2009年5月期以降の将来的な効果について



ORACLE®



**ORACLE®**

## 2008年5月期の成果と2009年5月期の戦略

日本オラクル株式会社  
社長執行役員 最高経営責任者  
遠藤 隆雄



# アジェンダ

- 2009年5月期に向けて
- 協業体制について



# 2009年5月期に向けて

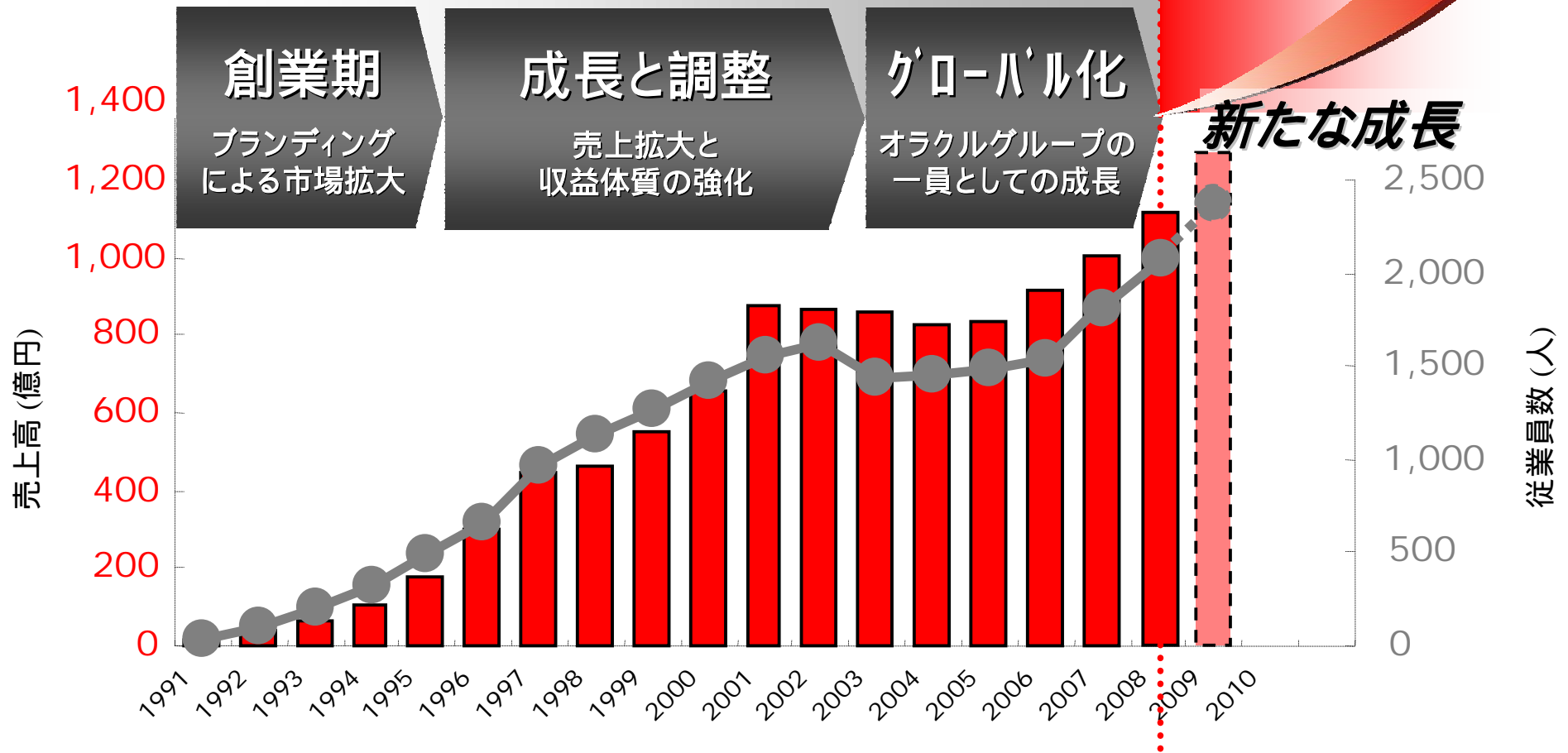




# 日本オラクルの新しいスタート

## 第1巻

## 第2巻



ORACLE

## 第2巻の目指す姿

お客様

価値の提供

お客様の経営に貢献する企業へ

～ お客様の変革のパートナーとなり、長期的に信頼される ～

中期事業計画のフレームワーク

**GTM** (Go To Market)

製品/事業戦略

人材/文化

変化を創り続ける

ORACLE

# 企業が直面する課題



## 【ポストバブルの状況】

企業の経営を大きく変革させる環境変化がめまぐるしく起きている



## 【経営者のITへの期待】

市場変化に対応したビジネスモデルの変革を、ITを利用してスピーディーに実行

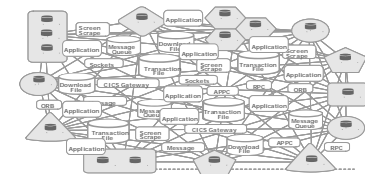


## 【ITシステムの状況】

ITコストの約7割は運用・保守に費やされ、新規機能に十分な投資が行えていない

Why?

システムが“複雑”に“直接”，相互連携しており  
追加/変更要求への対応に膨大な工数と期間がかかる

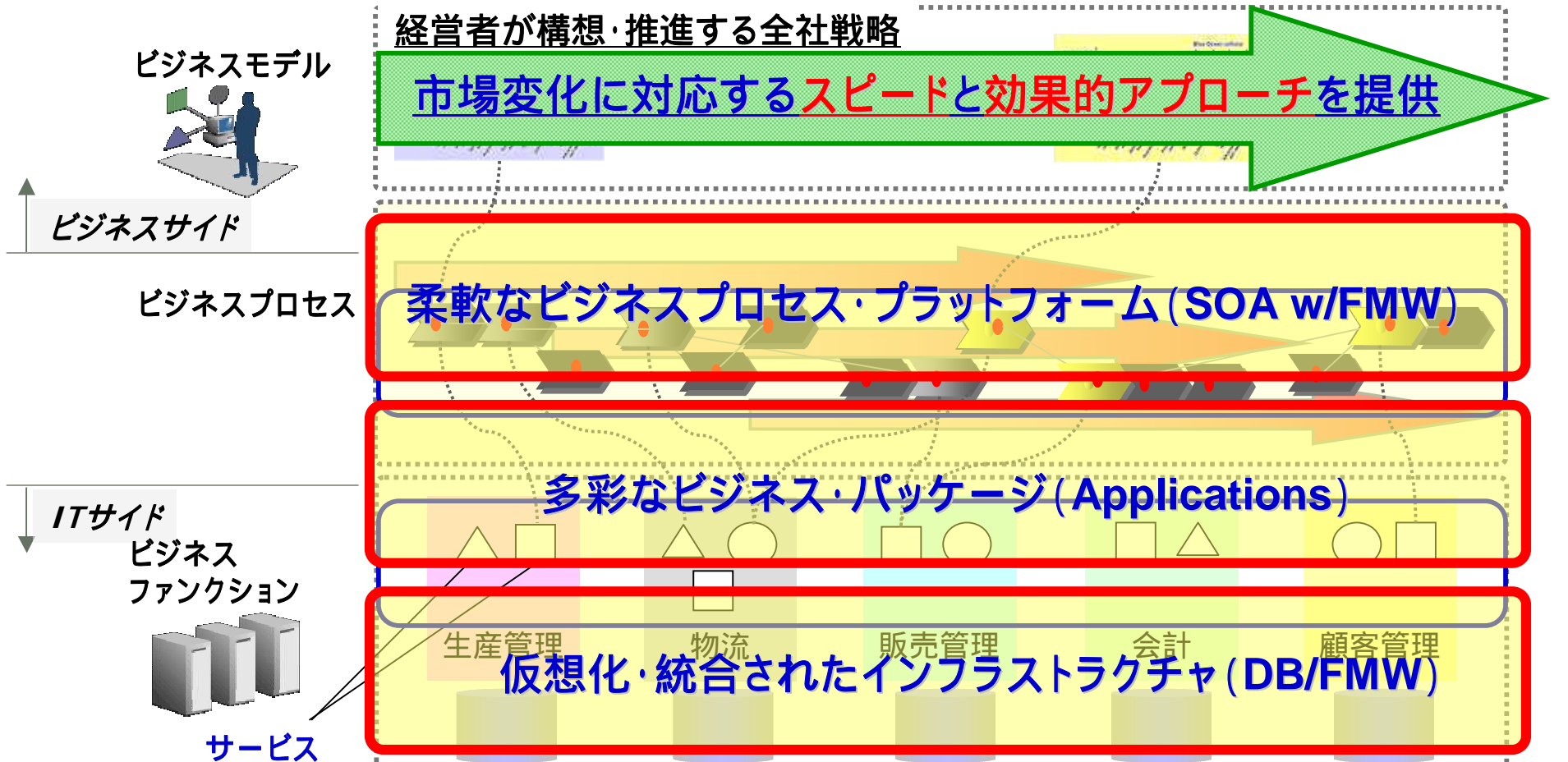


**既存システムの柔軟性の無さが“変革”の足かせとなっている**

# “変革”を目指す経営に貢献するIT



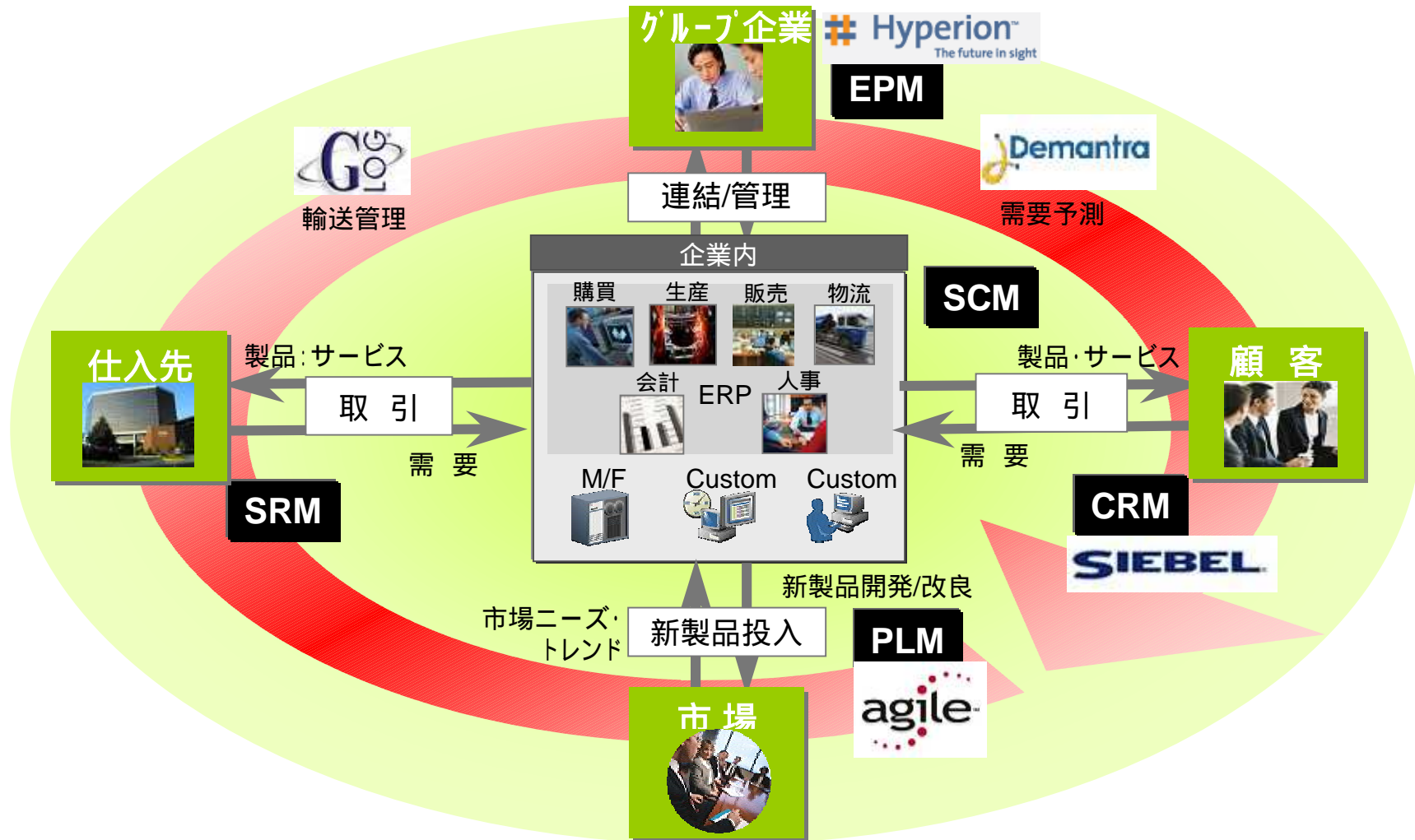
- ✓ 既存ファンクションの再利用、強力なパッケージの新規導入
- ✓ “変革”を実現する柔軟なビジネスプロセスの構築



ORACLE

# 企業間連携によりSOAの必要性が増大

- 企業間最適化によって実現する、情報融合、生産性向上、競争優位性、高付加価値創造
- 企業の壁を超えて、ビジネスプロセスを柔軟にデザインできる環境へ



# 新体制と役割分担

社長執行役員  
最高経営責任者  
遠藤 隆雄

ライセンス(営業)

システムテクノロジー

ビジネス・アプリケーション

サポートサービス

エデュケーションサービス

コンサルティングサービス

ORACLE

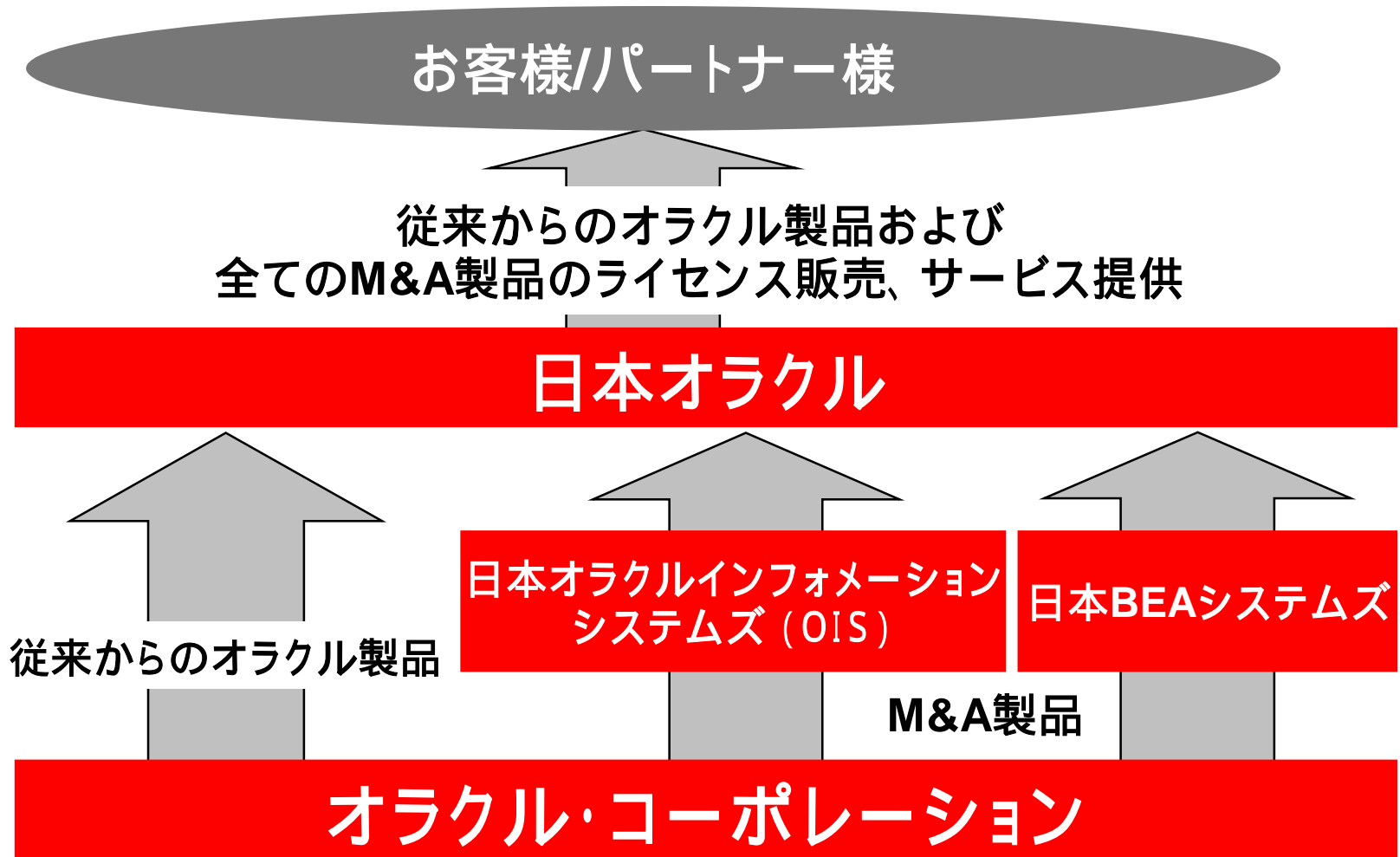


# 協業体制について



# M&A成果のスムーズな国内展開の継続 1/2

窓口  
戦略の  
一本化



ORACLE



## M&A成果のスムーズな国内展開の継続 2/2

従来通りオラクル・コーポレーションのM&A戦略の効果  
を日本のマーケットにおいても最大限に発揮する

すべての事業分野で  
シンプルかつ効率的な  
オペレーションの推進

統一した製品戦略により  
シナジー効果を加速

契約窓口の一本化により  
お客様に分かりやすさ・安心を  
ご提供する



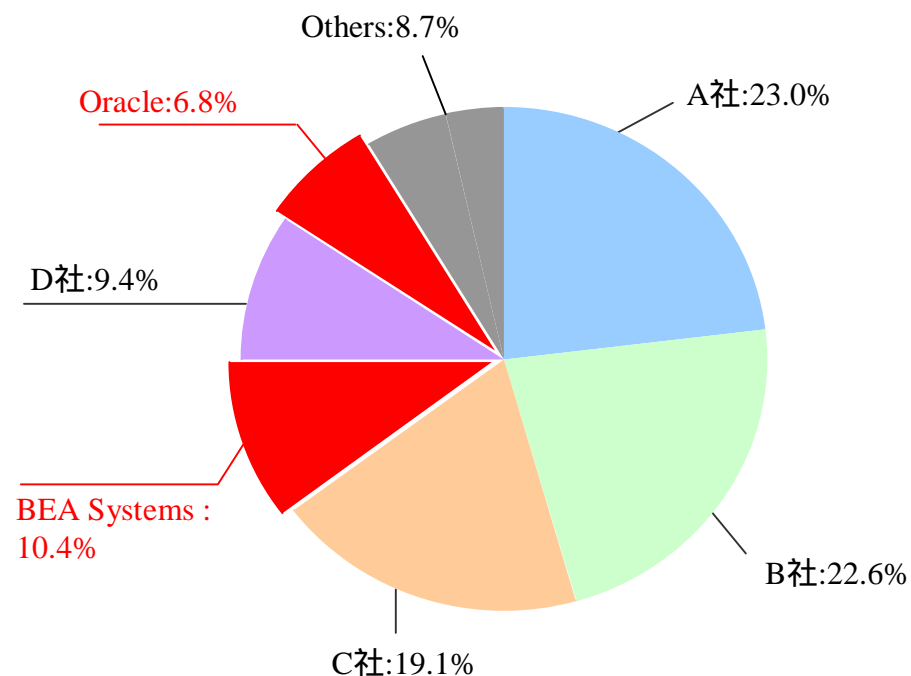
# Appendix



## 参考) AS分野における市場シェア

2007年の国内Application Server市場では  
Oracle+ BEA Systems = 17.2%と上位3社に肉薄

Application Server Software Platform by Vendor 2007



Source : IDC Japan, June 2008

ORACLE



## 注意事項

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事象については、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

取材のお申し込みやお問い合わせは以下までご連絡ください。

インベスター・リレーションズ

TEL 03-5213-6666

IR Web Site <http://www.oracle.co.jp/corp/IR/index.html>



ORACLE®

ORACLE®